京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十二年 紀元二千五百六十九年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金四十五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓
日曜日及大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行金一圓▲特別欄特別廣告は協定
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城南大門通西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

寄書

統監の産業政策

旭川

曾禰子の故伊藤公に代りて韓國統監の印綬を帶び任に京城に來るや、其の採るべき政策を宣明すらく、未だ政法律令の改正を要せざるもの無きに非ざるも、然かも其最も急なる産業を興すより甚だしきは微し、况んや政法律令改正の酷しく急を要したるものは前統監によりて成し遂げられたるに於てをや故に余は産業政策の振興に對して其の全力を傾注せんと。旨哉、金玉と相撃つもの、鏘々として吾人の傾聽に値したりき。

産馬政策は予の得意とする所なるは吾人既に之れを知れりしも、予が産業の振興を叫ばんとは吾人は豫想せざりし也、然り而して豫想せざりし丈け夫れ丈け多くの希望を此の上に繋くるあるは一般の人情なり、吾人は目を刮して予が所謂産業振興の策が那邊に發展し行くかに注意したりき、爾來半歳。

學部及び其の他の諸部省が競ふて注意を農林、殖産工業の方面に拂ふに至りしは爭ふ可らざる事實にして、此れこそは即ち曾禰子が政策の發展にして、予が態度に基くものたるや論なし、予や元來不言實行を規矩とし、言へば必ず行はんことを期すと、予今に於て其の言の虛ならざるを知る、雖然、其の規模の甚だ小に失して兒戲に類するものあるは寔に嗤笑の外あらず、苟も大東帝國の重臣、韓國統監をして産業の振興を呼ぶからには今少しく男らしき計畫の下に其の局面を展開せざる可らず後家が借家を修繕するが如き押つ冠せ主義切り貼り主義は政治家の踏襲すべき最善の方策にあらざるを知らざる可らず、其の延壽太夫を聘して之れに多くの鼈頭を與へたるも又其の産業政策發展の餘澱か、とは頗る露骨なる皮肉家を以て自任する京童の惡謔也、竊く可らず。現に角印刷局の發展や、京城日報の分工場增設に滿足するは、吾れ之れを予の爲めに採らず。

雜報

韓國合併と官制

近日發表の筈なる鐵道院官制改正（韓國鐵道合併の結果）の要點は左の如し

一鐵道院官制第六條東部、中部、西部北海道、九州五管理局の次に「韓國鐵道管理局」を加へ合計六管理局とす

一韓國鐵道管理局に左の八課を置く

庶務課、營業課、運輸課、工務課、工作課、船舶課、電氣課、計理課、建設課（是れ韓國鐵道管理局管內に於ける建設工事は之を鐵道院と分離施行するを以てなり）

一韓國鐵道局管內主要地に左の四事務所を置く

運輸事務所、保安事務所、出納事務所、建築事務所

右官制の發表と同時に明治四十一年十二月四日發布勅令第二百九十七號「鐵道院職員定員の件」同第二百九十九號「高等官官等俸給令中改正の件」同第三百一號「鐵道院職員特別任用の件」等を始め總て該改正と關聯せる勅令の一部を改正し明治三十九年六月勅令第百七十六號統監府鐵道管理局官制は之を廢止さるべし其結果として現統監府鐵道管理局長官は鐵道院理事に事務官は鐵道院參事に事務官補は鐵道院主事に任命せられ職員には異動なき筈なりと云ふ

秘密結社の魂膽

開東敎の徒を率ひ耶蘇敎徒と結托して或る意味を帶べる大極敎宗會にては敎徒募集の爲め左の如く各道に派遣したる由なるが彼等の行動は頗る注目に値すべし

咸南 石鐘行　忠南 金秉昌
忠北 李炳善　全南 韓敬澤
慶北 金護圭　慶南 趙南鉉
黃海 全磬培　平北 桂圻常
平南 黃業　京畿 金齊

因みに咸北、全北、江原の三道は未定にして京畿道に派遣さるべき金一濟の如きは儒生にして耶蘇敎徒たる注意人物なりと云ふ（京通）

兇漢に關する新說

本社が或る筋に就て聞き得たる處によれば伊藤公を暗殺したる兇漢安重根の一派十四名は今春浦鹽に集會し席上斷指決死を誓ひ紀念寫眞を撮りたるが彼等は豫め暗殺を行ふべき政客を數へ伊藤公爵を筆頭に三浦梧樓子、林權介男、一進會長李容九其他の人々に對し各々役割を定め安重根は伊藤公に對し實行したるものにて尙ほ忠淸道茂朱郡の玄錫鶴及李範石の兩名は三浦子爵暗殺の役割に當り居り不日發行の爲め渡日すべしといふ（日韓通信）

●露國領事の警察觀

元山露國新領事館落成式を舉行したる際在元山露國代理領事ピルコーフ氏は先づ落成式舉行に對する祝辭を述べ次で道路の整理、盜難事件の減少を舉げ以て北海に要港たる元山警察署の完備を賞讚したり

●李一進會長の煩悶

一進會長李容九氏は三派紛糾問題より永樂町の自邸にありて幹部員を指揮し居れるが東京宋秉畯よりは頻りに日韓關係問題の解決を急迫され一方大韓協會に對しては聯合以來の情實纏綿し若し此際宋氏の言を實行すれば聯合の猛

和歌募集

勅題「新年雪」

選者 九皐舘去留

何首にても隨意、用紙用箋類も又御隨意の事、締切期限十二月二十日、發表は四十三年一月元旦の本紙上を以てす、同好の士奮て投詠せられんことを希ふ

十一月廿日 本社編輯局

◎新刊紹介

●少年（七五）いつも乍ら面白いものばかり、口繪に寒き朝、中繪に荒野の獅子其他聯多の時事の寫眞版あり記事には雪の兵隊（青村）アイノカセカチ（泡鳴）麒麟と犀、御褒美、百年目、黃雷物語、臺灣の生蕃、水滸傳の猛武者、商船の話、亞非利加の象、怖しき旅、伊藤公の一生、毒草に注意せよ等あり少年の好伴侶△十錢△東京京橋南鍋町二時事新報社發行

●政友（一二三）藤公薨去に就立憲政友會決議吊辭、原氏の演說、伊藤公の上奏文、藤公の拜受せし憲法取調科目他遺訓、政友會創立當時の伊藤公時事數件會報等をのす△十五錢△東京芝區芝公園內立憲政友會々報局發行

第四十四席

伯山改 神田松鯉口演

さて爲朝は大島を領有して「此島は天子より我に賜ふたのぢや」と、是れより民に耕作養蠶を敎へ、善を勸め不能を哀れみ、誠に好く御政治をなさるので、島民皆尊びて父母の如くに慕ふて居ります、其内に數十艘の船を造らせ、三宅、新島、利島、沖津、御藏の島々を打從へられ、忽ちのうちに、伊豆諸島の領主の如くになり、堂々と館を構へ家來を從へ勢ひなか〳〵侮ることが出來ません、元來此島々は工藤茂光の領地でありまするのに、もう三四年と云ふもの少しも貢物が出しませんので茂光大に憤つて忠重を呼寄せ「汝は爲朝と婿となし、我れに貢物を送らぬとは何たる無禮だ、もし貢物を送らば好し、送らねば我れに又其籌へあり」と申渡す、忠重大に當惑して、直ちに歸りて密かに貢物を差出すべしと、約束なし島に歸りて密かに産物を船に積んで持出さんとするのを見て爲朝は「ナニ、茂光の奴、恐るゝに足らず若し攻來らば我が一發の矢にて茂光の命を斷つこと容易なり、少しも驚くことなく安心して居るが宜い」と貢物を出すことを許し給はねば、忠重は殆んど當惑致しました、然るに前に申しました彫江の腰元た初と云へる女、十二の歳から彫江の御付となり、性質柔順にして容貌も可なりでありまするが、去年忠重の家來にて小島九郎と云へるものを夫となし夫婦なか睦まじく玉のやうなる男の子を生みて頻りに、寵愛致して居る、所が七月の中旬、暑さの爲めに家の戸窓など盡く開き、九郎は爲朝の館へ赴き、た初は唯一人、小兒を抱きて枕頭に蚊遣火をたき、ウト〳〵して居ますと、突如、旋風の如くに屋內へ入つて來たものがある、た初は驚いて見ると眼の光は人を射て、口は耳の根まで裂け、舌の大きいこと血を盛る盃に異らず、左右の肩へ振り亂せし白髪は枯野の尾花に似て、全身の大きさ小牛の如き怪物、小兒の頭をガツキと許りに喰付きて其儘引摺つて表の方へと飛出す、小兒は聲を放つて泣叫ぶ、た初は大に驚きソレと跳起きたれど、怪物は小兒を咥へたまゝ遙か數間先きの林の中へ逃込んだり、た初は哀しみに堪へず、ワツと許りに其處へ泣伏しましたが、一刻も早く夫へ知らせんとて、遠くもあらぬ館へ馳せ參つて、其由を九郎へ告げましたので、九郎も大に驚き、直ちに同役四五人を語らひて血汐の滴たりし跡を慕ひて林の中へ入り、彼方、此方と探し廻はれば、やがて林を拔けて海濱へ出で大なる岩穴の前に來りますれば、九郎の伜は肉を盡く喰はれ、骨のみになつて打捨てゝある、唯着たる一枚の單衣が骨に纒つて付いて居たので漸く我が子と覺れまする位であります、九郎は大に憤つて「此の穴に怪物が居るに違ひない、ソレツ、竹竿にて穴を突け」と云ふので、四五人の男、若長き竹を以て穴を突きまするを、小牛の如き白き怪物、飛出すよと見る間に忽ち丈け二三丈もあらんと思はるゝ大入道となり、一呑みに呑まんとする勢ひに一同「アツ」と許りに驚き、後をも見ずして逃歸つた、此事全島の評判となり、村の若者等も一人として此穴の近所へ近寄る者がない、然るに三吉と云へる大力者、島中第一の膂力にて、相撲などにては何時も勝を占めて居る、此者が聞いて「俺が一つ退治てやらう」と三人の仲間を語らひ、或夜此の穴の前へ來り大音に「ヤア〳〵怪物、出で來よ」と呼はれば、突如穴の中よりドツと許りに飛出したる怪物、先づドンと許りに三吉の胸へ突當つて、メリ〳〵〳〵と首筋を引裂き、ポンと五六間向ふへ飛んだ、三吉不意を喰つて「アツ」と尻餅を突き立上らんと眼を開らいて見上げると、二三丈もあらんと思はるゝ大入道口を開らいて飛掛らんとする有樣に、三吉始め三人の若者、命カラ〳〵逃歸つた、今は他に術がないから御曹司に御願ひするより外はないと、島の者等より怪物退治の義を爲朝へ願ひ出ました

移轉擴張

多年本町三丁目に於いて營業罷在り候處今回業務擴張の爲め左の所に移轉仕り候間從來の通り御引立御投宿之程伏て願上候

京城藝町一丁目一九（元牧野旅館跡）

御旅館 旭館

（電話六四五番）

緊急廣告

石川高等法院判事閣下校閱
今村內部警務局警視閣下校閱
日韓印刷株式會社編輯部編纂

○印刷鮮明○校正嚴密○類集整然○攜帶便利

統監府裁判所監獄署警察署法規提要

壹冊紙數六百頁 菊判半截形 製本堅牢 正價金六拾五錢

此際に限り實費金五拾錢にて配本仕候十二月五日出來配本

◎本書は日韓一家的關係の上に於て近來に於ける一大進步とも稱すへき司法權委任に關する法令を餘さず洩さず網羅蒐集したるものなり

◎本書は時世の要求に依て產れ出關係官民各位の渴望に應すへく茲に印刷實費を以て提供を開始せり

◎本書は官衙公署は勿論銀行會社組合事務所其の他荷くも在韓官民諸彥の座右に是非備へ置さるへからさるものなり

◎本書は必要の場合に應して使用するのみならず此際に於て是非一回は御通覽の必要あるものなり

◎◎總目次見本は御申込次第郵送可仕候持別減價の方法あり御希望の方は本月末日迄に御申入れを乞ふ

京城明治町三丁目

日韓印刷株式會社出版部

明治廿年七月創立

東京火災海上運送保險株式會社

京城代辨店 本町四 山口

資本金一千萬圓 事務所 京城本町二の三 電話

京城新報

韓民と納税

五雨十風時の順に適ひ、五穀豐穰、万民鼓腹して天下の太平を謳ふと思ひきや、民に菜色あり、途に餓孚あるの珍妙の現象を顯せり。

本年我國にありては、海外貿易は頗る好成績を示し、正貨の流入極めて多く貨物の輸出夥しく、前月中旬既に出超四百万圓以上に上り、此分にては年末迄に二千萬圓以上の出超を見ると、敢て難事に非ざるもの丶如し、外貿易の順潮此の如くなるに加わて、內五穀の豐穰亦た未曾有に屬し米穀は優に五千四百万石以上の納獲なるべしと云ふに國內の不景氣は實に甚だしく、米價は日に日に下落し、農民は空しく其の收納の五穀を抱て、肥料の代價も支拂へず、地租の納税も出來ずして、却て豐年を怨みつ丶あり、政客政黨の地租輕減を唱導する以なきにあらず、況や天下無比の五分五厘てふ重税を課せられつ丶あるに於てをや。

翻て韓國に於ける農況及び農民の狀態を察するに、韓國は我內地程にはあらざるも是亦著しく豐作を見たるに拘らず、韓民は空しく其の收納を抱て、地租の滯納を餘儀なくせらる丶こと猶ほ日本の農民の如くに然り。是れ日本が豐積なりしが爲に、其の獲る所を輸出するに途なく、過剩の米穀各所に堆積し價格日に日に下落し、遂ひに正貨を得ること能はずして、滯納の止むなきに至れるが如し。

韓國は我が國の統監指導によりて、年に月に各事業の改廢整備を來たし、地租納入法の如きも、昨年度よりして、從來の米納制度を改めて、正貨納入の制となり、制度の稍々進步したる趣あるが如きも、是れ唯形の進步に過ぎずして、余輩は能く民情の如何を察せざるもの丶、唯法の美に醉ひて、制定したるものならざるなきかを疑ふ。由來韓國の流通貨幣は甚だ尠く一人僅かに一圓强の割に過ぎずして而かも地方農民全體には行渡り居らざるなり。而して唯僅に自ら耕して自ら衣食する者、民人の大部分を占むる韓國に在りては正貨納税の制の、制定實施せらる丶の適否未だ容易に判ずべからず、本年の如き豐年に遭ひて、民が尙ほ其の納税を能くせざる所以は、決して其租税の重きに過ぐるが故にはあらずして、全く之を納むるの正貨なきに窮すればなり、富の相應に家に在りて、納税の義務を果し得ざるものは、其の罪實に民の罪にはあらずして、之を納めしむるもの丶罪なり、資に之を納めしむる者の罪にあらずして、之を强ゆるの法の罪なり、若し此儘にして過ぎんか、余輩は憂ふ、近き將來に於て、或は口實を酷税苛歛に籍りて、地租輕減を絕叫するが如き擧動に出で、政府は途に怨府と化し了はるの日あらんことを、正貨納税至當にして、又た輕便なる、余輩も元より之を知る。然も一方政府が處分方法に窮すると同時に、又た一方農民に於て、如何にしても滯納を餘儀なくし、困憊窮迫せるを思はゞ、多少の不便は忍ばざるべからず、故に余輩は希望す、此の際便宜の米金兩納方法を採用し、民をして安んじせしむると共に、國庫歲入額の大部分を占むる地租の納入を速かならしめんことを。若し夫れ納入米の處分に至りては、自ら方法あり何ぞ幷を憂ふるを要せんや

東京電報

▲伊藤博邦氏の襲爵

故伊藤公爵嗣子博邦氏左の如く襲爵仰付けられたり（三十日夜着）

故公爵伊藤博文嗣子
正四位勳四等 伊藤博邦
襲爵被仰付

▲高度支相の東京着

度支部大臣高永喜氏一行本日午前九時入京直に烏井阪皇太子御用邸に伺候せり（同上）

▲人事局長の任命

戶山學校長陸軍少將山田忠三郎氏は陸軍省人事局長に補せられたり（同上）

▲瀛船象潟丸の沈沒

横濱上海、大連等の間を航行して木材の輸送を爲せる瀛船象潟丸（千三百七十三噸）は二十四日大連を發し横濱に向ふ途中激浪に遇ひ沈沒し乘組員三十三名溺死したり（一日）

▲戶山學校長任命

近衞二聯隊長大庭二郎氏は陸軍戶山學校長に新補せられたり（同上）

北京電報

▲獨逸小銃の購入

東三省總督錫良は獨逸より小銃三千挺彈丸五百萬發を十九萬圓にて購入したり（一日着）

▲孫家鼐氏逝去す

大學士孫家鼐は二十九日終に逝去したるが三十日哀悼授爵の上諭ありたり

雜錄

鐵道輸送の新計畫

日本より鐵道便にて韓國及滿洲に輸送する貨物は從來其の手續の繁雜なる爲め往々荷主に不利益を與ふること少なからざりしを以て關税局にては今般是れが手續の簡易を期するが爲めに從來輸入荷物仕向地驛に到着後四十八時間を經過する時は税關に於ては鐵道より庫入申告書を徵し總て保税倉庫規則に依り取扱ひ來りたるも其の貨物の大部分は元來保税倉庫に藏置すべき性質のものにあらずして庫入の際に於ける開裝檢査の執行に當りては包裝不完全なる爲め保管上の安全を期する事能はず荷主の損害多きを以て將來鐵道驛に於ては貨主の便利を謀り輸入貨物を藏置すべき一定の倉庫を設けらる丶場合には之れを承認するの途を開くと同時に若し鐵道に於て其の施設なく且つ税關に於て關税取締上必要とする時は海港税關の取扱と同樣借庫規則に依り税關に於て其の貨物を收容保管すべく目下鐵道廳と交涉中なれば來年四月新年度より實施することになるべしと云ふ

謝罪使派遣の魂膽

大邱の者尹大稷外二名の發起に係る謝罪使派遣に就き去月二十五日中部大寺洞の事務所に於て同志四十八名開會の結果各道に運動委員を設置し旅費として金一圓を醵出して事務所費に充つることゝして更らに十二月一日各道各郡の代表者總會を開く筈にて散會したるが昨一日獨立館にて開催の筈なりしも大寺洞の事務所に變更して會議する所ありたるが列席者は案外に少なく要領を得ずして散會するに至りたる由なるが一說には謝罪使派遣の件は彼等が私腹を肥さん目的にて發起されたるものにて現に謝罪使派遣費の名を以て某銀行より三萬圓を借出さんと目論見居れりとの說あり

地方監督の機關

地方行政廳に對する事務は中央政府之を監督し中央政府の監督は統監府之を行ひ居るも之が爲めに統監府の監督權は一般的に普及する能はず唯だ各部の報告を待つのみの現狀にて支障尠らざれば理事廳をして各道廳の監督權を執行せしむる組織に改むるの必要ありと

鐵道官制發表延期

韓國鐵道を鐵道院に合併の官制は昨一日付にて發表の豫定なりしも都合により數日を延期する旨其筋に通知あり

●棉花栽培業の好望

木浦臨時棉花栽培所に於ては棉花事業の開發並に之が獎勵改善に力め居れるが最近同所に就て精密調査する所に據れば年々韓國棉の植付總反別は凡そ十二萬町步に及び而して之が種類は全く韓國棉にして品質は甚しく不良と云ふに非るも收獲甚だ少量なるが爲めに附來專ら米國陸地棉の種子を買ひ入れて全南管內其他に配付せしか其成績は極めて良好にして收獲多量なり最初は僅かに四十町步の試作に過ぎざりしもの か兩三年を經過したる今日に於ては既に一千町步の多きに及ばんとする陸地棉の植付を見るに至りたり隨て近來韓國棉を廢して漸次陸地棉を栽培するの傾向を呈せり要するに韓國棉花事業は將來益有望となりたれば今後久しきを出でずして數百万圓以上の收獲を得るは蓋し決して難きに非ざるべしと

●暴風雨と被害電線

去月二十八日朝以來の暴風雨の爲め十二月一日正午までの被害電線左の如し

京城大邱線	利川 忠州間
光化門釜山線	同 上
仁川木浦線	京城 群山間
群山釜山線	大邱 全州間
光化門群山線	京城 水原間
清津慶興線	清津 雄基間
元山江界線	咸興 長津間
京城釜山線	京城 大邱間
京城水原電話線	京城 水原間
木浦靈光線	咸平 靈光間
仁川釜山線	京城 大邱間
北黃坪慶源線	北黃坪 慶源間
釜山木浦線	光州 木浦間
慶州盈德線	浦項 盈德間

而して昨一日正午迄に開通せしは京城大邱線、光化門群山線、京城水原電話線、仁川釜山線の四線にて他は不通也

●密漁船の船具押收

黃州道夢金浦に於て監視船鎮洋丸の爲め捕獲せられ繫留中なる清國密漁船十七隻は各六噸位の中形ジャンクにして附屬小舟二三艘宛を有し乘組員は百三十一名にして何れも太刀魚の密漁に從事し居たるが每船一潮每に四五十尾乃至百尾以上の漁獲あり漁業の方法は日本の鯛網に等しく二百三十尋のもの三百五十尋のものと二種あり而して漁船は漁夫の所有するにあらずして漁船問屋より借入れるものにて漁獲高の百分の十五を賃料として問屋へ支拂ふ由なるが船具は總て漁期終了迄鎮南浦に差押へたりと云ふ

民長問題解決せん

民長候補選定に就き支離滅裂せる事既報の如くなるが所謂中立派と稱する釘本、皆川兩氏及中村再造氏等相互斡旋の結果左の如き覺書を交換したれば今日の協議會は圓滿に進行するを得可と

京城居留民團政務に關する意見覺書

（一）政務の一般方針は積極的整理發展の計畫に依る事（二）役所吏員の大淘汰を速かに實行し積弊を刷新し事務の紊亂を矯正する事（三）税制整理調査會を設け四十三年度以降に於ける税制の大改革を計る事（四）税務區域を適當に區分し收税事務を改革する事（五）吏員給與に關する規則を速かに改正する事（六）役所の庶務細則を速かに改正する事（七）議事に關する規則を速かに改正する事（八）消防に關する規定を改正する事（九）會計役を速かに撰任する事（十）高等女學校の位置及第三小學校の建設は四十三年度豫算編制以前に定むる事（十一）一切工事請負物品購入賣拂等は一切の情弊を斷ち規定の精神に從ひ公正なる取扱を期する事（十二）土木工事の事務に關する協議員三名を置き嚴正なる監督方法を計る事

民長問題打合せ

紛擾に紛擾を重ねて世の物笑ひとなりたる京城の民長問題は二日夜の會合に於て何とか決定せざる可からざる運命に迫りたれば三十日來各所に寄々會合して打合せ中なるが一日午後一時より皆川、古城、中村其他二三の議員各民團役所に會合して密議しつゝありと

●駐韓軍將校の交迭

十一月三十日付陸軍大交迭の結果駐韓軍に於ては司令部に移動なく各隊の佐官以上は左の如く交迭行はる步兵六十四聯隊附信崎少佐同五十一聯隊に轉じ同四十五聯隊の松本少佐其後を襲ひ同四十五聯隊附生田少佐は同聯隊の大隊長となり澎湖島要塞參謀松山少佐同聯隊附となり二十三聯隊大隊長清水少佐豫備に編入され少佐林半助氏之れに代り野戰砲兵六聯隊大隊長黑川少佐同十六聯隊大隊に轉じ山田少佐其後を襲へり

●關野博士視察行程

關野工學博士は三十日公州に於て藝術に關する一席の講話を演じ一日は附近五六箇所の古蹟を歷訪し今二日公州に引返すべき筈なるが同博士には廿六日公州着以來昨三十日迄の間に江景、恩津、扶餘等の古蹟及古代建築を調査したりしが今後の行程は沃川、俗離山、大邱城內相草寺、永川、慶州城內其附近佛國寺、靈山通護寺、梁山、禁魚寺、東萊を巡視し十七日に釜山に着夫より釜山附近及金海を調査の後二十一日馬關着の筈なりと云ふ

●朴泳孝歸京の虛報

近時朴泳孝の歸京を傳ふるものあるも朴が今日の境遇上到底歸京する能はず假令歸京說を異なりとするも傳ふる如く朴が歸京と同時に內閣の瓦解となり次で朴が宮相の椅子を占むるが如きは現今の狀態より照らすも決してあり得べからざること炳然たるに强て朴の歸京說を捏造するが如きは這は漁夫の利を得んとするもの丶浮言にして朴泳孝の歸京は全く虛報なりと（京城通信）

●文官任用內規撞着

日本人に適用する文官任用內規は韓政府に於て制定しつ丶現に各部は是に基き任用手續を爲しつゝあるが一方統監府には日韓新協約に依る日本人官吏推薦內規なるものありて取扱上屢々撞着を來たし非常に差支へ居る由之れが爲に韓國側の內規は恰かも死物同樣の有樣なれば適宜改正の要ありと云へり

●殿陵附屬土地森林

各道を通じ十二箇所を算する殿陵附屬の土地森林は全部殿陵の保管となすか國有として國庫の收入となすかに附協議纏まらざりしか度支部、內部、農商工部に於て交涉の結果實際殿陵の維持に必要なる土地森林のみを附屬せしめ其他は國有となす事に決したる由

●御渡韓記念品下賜

今夏梨本宮殿下が歐米漫遊の歸途御渡韓ありし紀念として一昨三十日統監府警察官吏諸員を始め夫れ〳〵御下賜品ありたるが警察官の分は左の如しと云ふ

松井警務局長（銀盃及び純金寶石入カウス釦）若林警視總監、永谷、桐原、青木、飯田、宮舘、境、諸警視（純金チタイピン）渡邊警視（銀製卷莨入）

練習艦隊着仁期

練習艦隊阿蘇、宗谷は明後四日旅順より仁川に入港する豫定なるを以て仁川民團にては右歡迎の準備中なり

●仁川居留民會開會

仁川第十三回居留民會を明三日午後六時より開會し四十二年度更正豫算の件及び會計役代理撰定の件會計檢査報告並びに港灣組織調查に關し岩崎民長の神戶横濱に出張の件其他横山助役後任撰定に關する審議ある筈なりと

●平壤下水事業計畫

平壤に於ては今春來日韓人合同にて下水事業を計畫せるが右は地方費を根據として五箇年間繼續にて約二十八萬圓を要する事とて頃日若松同地理事官入京內部當局者と打合中なりと云ふ

●新行政と舊慣打破

日本人官吏の地方行政事務を執るに及びてより惡舊慣打破に努めつ丶あるが漸次諭告を容れ火葬の勵行婦女子の姓名を名付けて登錄する事及婦女子の公開席に列席する等の美風を養成し來り

●期成會常務委員會

去る二十九日を以て組織せられたる鐵道期成會にては來る四日午後七時より當地商業會議所に第一回常務委員會を開き上京委員の撰定等を協議する由

●途中下車驛の決定

昨一日より釜山鎭、新義州、安東縣の三驛は途中下車驛となれり此の中新義州及び安東縣の途中下車驛となれるは滿韓巡遊券を發賣せる爲めならんと

●鴨綠江の交通杜絕

鴨綠江は昨一日朝の寒氣にて全部結氷したるが未だ薄氷の爲め交通は危險なり而して昨年より遲るゝ事十數日なり

●通信管理局の擴張

通信管理局は府舍狹隘の爲め豫て同廳舍の横手に新築中の處此程愈々落成し出納課は新築廳舍に移轉したりと

●仁川各國居留地會

仁川各國居留地會を昨日午前十一時より各國警察署にて開會し議員の補缺撰擧を行ひたる結果岩崎氏當撰せり

●木內次官元山出發

二十九日元山を出發し途中暴風に遇ひ元山に引返して避難したる光濟號搭乘の木內次官一行は一日朝同地出發せり

●警部採用試驗擧行

警視廳管內の成蹟優秀なる巡査より警部に任用する筈にて昨一日第一課に於て之れが任用試驗を擧行したりといふ

●地方費未提出一道

來年度地方費豫算未提出は慶北一道のみにて其他は悉く提出せられたりと

●警察署新築落成式

水原警察署は四日海州警察署は五日それ〳〵新築落成式を擧行する筈なり

●各道警察署長會議

各道共目下警察署長會議開催中なるが慶南は既に終り全羅南道は目下會議中

●鶴岡書記官招宴

鶴岡書記官は一昨三十日夜自宅に知友二十余名を招宴し琵琶、浪花節、義太夫等の催しありしか席上デン通時報の發刊ありて主客十二分の歡を盡し頗る盛會なりしと

●仁川會議所總會

東上中の仁川商業會議所萩谷書記長は一昨夜歸任したるを以て近日中會議所四十二年度決算の報告會を開會する筈なりといふ

●宮舘警視の出張

仁川署長宮舘警視は署長會議に列席の爲め水原に出張

●西村主一氏入京

鎭南浦居留民團長の同氏は三十日入京山本旅館へ投宿

●秋本理事官入城

鎭南浦理事官秋本豐之進氏は三十日入京山本旅館投宿

●沼澤七郎氏下仁

忠清南道觀察道書記官の氏は三十日仁川へ向つて出發

●稻垣大尉龍山行

陸軍豫備步兵大尉稻垣盛人氏は三十日出發龍山へ向ふ

●進氏令孃の葬儀

進辰馬氏令孃ふぢ子は去月廿八日死亡し三十日南山本願寺に葬儀を執行し頗る盛儀なりしと

▲平壤通信（一日通信員）

▲韓人と雜貨商 平壤に於ける日本人の韓人向き雜貨商店は何れも卸商なるが其商摑法は現金取引は極めて僅少にして殆んど掛賣のみなる上に一ヶ月乃至二ヶ月の延取引にして之れが證書の如きも甚だ不完全なるものなり而して其取引に當りては卸商の競爭激烈を極め僅かに一面識あるに過ぎざる韓人に多格の商品を貸付け或は一面識なき地方商人でも問屋又は仲買人の周旋如何に依りて是又多格の商品を貸付くる習慣あり是が爲め時々不正なる韓人商品の持逃げ等をなし本邦商人は自然掛金の集らざること夥しく俗に云ふ掛倒れとなりて損失少からずと只何分競爭の烈しき結果損失を蒙むるものと知りつゝも尙貸付け或は二箇月の延取引を續け來りしか今回各邦人卸商店にては協議の上爾來事情の許す限り右の競爭を避け主として現金取引を改正し尙支拂

龍山通信（一日支局報）

▲道路切下計畫 龍山麻浦間の道路は前年既に開鑿されたるも阪路にして傾斜急なる爲貨物の運搬等に頗る不便を感じ矢張り麻浦よりしては西大門より京城に入るを便宜とし隨て兩地の關係は從前に比して少しも密邇の跡を認むるを得ざるは龍山居留民の齊しく遺憾とする處なるを以て民團理事者は該道路を切下げて兩地の接近を圖らんとし目下之が設計中なれば或は來年度の豫算には其の經費の計上さる丶を見んか

▲鴨綠渡航休航 昨今の寒氣にて鴨綠江は結氷を始め且つ流氷の爲め渡航危險にて去二十九日新義州安東縣間連絡船は一便より六便迄全然休航せしが引續き一昨三十日も一便より六便迄休航の見込なる旨鐵道廳に通知ありたりと

▲民團會計檢査 一昨三十日龍山民團定期會計檢査を執行せしも今日終了するを得ず昨一日に亘り之れも續行せり

▲治外法權▼

愈々今晩の協議會で民長候補者が極まるソーだが一體何人が選に當るか▲或人の民長候補資格論を聞くに曰く京城民團は痩せても枯れても三十萬圓近くの豫算を有すること故此民團の世帶を預るものは何を措ても第一に財政的數字を知つて其上金錢に正直なるものでなくてはならぬ記者も之には同論である、ドーか資格を具備した好候補者を得たいものだ▲過日柴四郎氏に向つて長民候補者たらんことを交涉したものがあつたソーだ當年の東海散士辭爵して御厚意の程は難有しと匆々行李を收めて南大門驛指して逃げたソーだ▲井上宮內府書記官が前代議士の某を候補者たらしめんと必死に運動をして居るソーだ、之を以て見ると宮內府も昨今は餘程閑散なものと見ゆる▲或人曰く民長に俸給が付けばこそ無暗に候補者が現はれる、寧ろ此際俸給を廢して全然名譽職となさば却て適任者を得られんかと、ナル程之も一ト理屈だ▲記者は何人も氣の附かざる好民長候補者を有す、幷は別人ならず東拓總裁陸軍中將男爵宇佐川君なり但し無俸給の名譽職を君が甘受するや否やは記者の知るところにあらず▲平壤に次で大邱でも商業會議所無用論が起つて居る、我が京城の會議所はドースレば良いか敢て會頭君に質し申す▲近頃韓人法官等が增俸運動を始めた其理由とするところは同じく日本政府の官吏にして日人なれば高く韓人なれば低きは不當なりと、ナル程聞ば一理屈はある、何なら古賀、[illegible]の三君を賴んで運動して貰ってはドーだ

吉凶鏡

本町五丁目 三一館判斷

十二月二日 舊十月廿日 六白 大安 丙申

△一白● 平靜の日常事常務は支障なし △二黑● 職務上利得あり又吉信好事を齎らすあり訴訟等は之を避くべし △三碧● 恩を施して仇を作り或は背信の行爲を仕向けらる丶事あり及貸借 … 快の事あき日なり盜害横領を防ぎ不時の負傷避くべし △五黃● 偉大と遲疑に流れて機を逸する勿れ取引上詐欺施計に防ぐべし △六白● 人より容疑を受くる … り心中に探らる丶事あり證券印章に注意し尙爭論紛擾を避くべし △八白● 滯の日なり新事及訴訟事は凶なり書類を飼ひ人を雇入れするは幸あり △ … 話事若くは心配事あり概して不穩の日なり謹愼を要す

●天氣豫報（自一日午後六時 至二日午後六時）

北の風晴

三十日（華氏） 最高溫度 二七、〇 最低溫度 一九、六

本町五丁目、三一館判斷

十二月二日 舊十月廿日 六白 大安 丙申 たきん △一白● 平靜の日常事務は支障なし旅行舟出入學門棟移替及改築等凶 竄らすあり裁判訴訟事は之を避くべし △三碧● 恩を施して仇を作り或は背信の行爲を仕向けらるゝ事あり又貸借典當取引注意肝要たるべし △四綠● 不の負債避くべし △五黃● 偉大と遲疑に流れて機を逸する勿れ取引上詐欺詭計防ぐべし △六白● 人より容疑を受くる事あり保證受印等堅く禁ず △七赤● 人よ盜し尙爭論紛擾を避くべし △八白● 事の日なり新事業着手等 畜類を飼ひ人を雇入れするは幸あり △九紫● 近親若くは朋友の身上につき世なり注意を要す

義親王訴へらる（終）

▲借用金を返濟せずとて千三百圓の債務を共僞に日本を立去られたる義和宮殿下は渡米後石塚氏に對して一回の書翰すら送らざりしも向ふは高貴の御方なり時至らば勿論返濟さるゝ事ならんと少しも督促めきたる事をなさゞりしが後本國に歸つて

▲五萬餘圓の歲費を受けらるゝに及んでも何等の挨拶だになく茲に八年餘の年月を經たるより流石の石塚氏も義親王が餘りの不信を憤慨し本年三月日本橋區本町一の一辯護士近藤定喜氏に其交涉方を依托したり、近藤氏は成べきだけ穩便の方法を執らんものと三月卅日侍從韓應履に宛書留郵便にて督促狀を發したれど何等の返信なかりしより翌四月在京中の伊藤公を靈南阪官邸に訪ひ其指圖にて國分秘書官に對し具さに事情を語り、同秘書官より「よきやうに取圖ふべし」との返答を得又韓國法律顧問なる梅法學博士にも面會して

▲殿下自署の手形を示したるに「手形も完全の正物なれば今夏彼地に赴きたる際、宮內府に談じ送り寄越さん」との事なりしより近藤氏は暫く交涉の歩を休め其時期の至るを待ち居たり、斯て七月廿日に至り滯韓中の梅博士より『件の事に付き小宮々內府次官に交涉したる處歲費より差引く事は是迄前例なき事なれども事實ならば何とか取圖ふべしとの返答を得たれば次官へ宛直接請求書を送るべし」との來信ありしにぞ直樣右請求書を送り同時に曾禰統監にも

▲陳情書を發せり 八月廿三日小宮次官より返信あり「宮殿下に具陳したるに該金は一文も自分の使用したるものに非ず又借用金の件は一切承知せず今日迄十年間も請求なかりしより見れば何時か償却せるものなるべく、證文も元より當にならぬものなりとの御返答ゆゑ歲費より差引く事能はず」との趣なりしかば石塚氏も遂に堪忍袋の緒が切れ去八日を以て東京地方裁判所に約束手形金請求の訴訟を提起したり 石塚氏曰く「十年間も默して居たのは向ふが高貴の御方だから默つて居ても返濟さるゝだらうと思つて居た爲めで殊に貸借の當時殿下自ら私の宅迄御出でになり紀念として

▲自筆の額を賜はつた程ゆゑ今日迄差控へて居たのでした」又近藤氏は『石塚は德義上今日迄默過して居たのに親王が三百的の事をするから大に爭つてやらうと思つてます、義和宮の落胤だと云ふ林子の子には今でも送金を續け尙近頃質屋を開くとかで少なからぬ金を遣はされたと云ふ位なのに正當に返濟すべき當方に對して此始末、親王だなんても朝鮮で云ふ擔軍とかにも劣つた仕打です」と大に憤慨し居たり尙此公判は來年二月頃東京地方裁判所にて開廷さるべしと云ふ（完）

嚴妃永道寺に祈る

▲皇太子の身上を案じて燒野の雉子夜の鶴子を思ふ親心は昔も今も尊きも賤きも變らぬが人情の常なるが嚴妃には其一人兒の皇太子が海山遙るけき東京に留學し玉へるを一方ならず氣遣ひて雨の朝風の夕思ゐる、暇とてはなき有樣にて我皇室の深き御慈みに恐ろかはあらじと思へども尙は幾頃の兇變に日本の人心一方ならず激昂せる折柄なれば、若しや異變のおりもせんかと女氣の心配く心痛の餘り數日前巫女壽運と云ふをして東大門外なる永道寺に皇太子の安康を祈禱せしめしと

李總理邸に金の催促

▲運動費の金貨六千圓田地爭ひにて監獄に投せられたる內侍姜錫鎬は數日前密書を自宅に送り自分は七年の刑に處せられし故此間よく家事を處理し一厘たりとも空費せざる樣心掛く可し然して子息李應復をして李總理に運動費として遺したる金貨六千圓を取返す可しとの旨なりしかば一昨日親戚の李圭談は李總理邸に押掛け門客李順濟に面會し手詰の談判なせし由

仁川港暴風被害後報

▲總損害額金三萬餘圓

去月廿九日仁川港に於ける暴風雨被害は近年稀に見る處にして仁川署にては專ら右損害を調査せし結果左の如かりしと云ふ

（日本船）

△汽船天草丸及び運輸部所屬廣島丸破損此損害高三千〇二十圓

△同帆船 沈沒一隻、破損一隻、損害四百八十圓此積荷損害はなかりき

△同艀船 沈沒一、破損一八、損害三千六百廿圓此積荷損害千三百十圓

△同サンパン 破損二、損害百圓

計 沈沒七、破損二三、此損害船体七千二百廿圓同積荷損害千三百十一圓

（韓國船）

汽船稅關所屬船破損二、損害六十圓積荷損害ナシ

△同帆船 破損一二、損害二千二百三十圓、同積荷損害三千六百圓

△同艀船 沈沒五、破損一〇、損害一千三百三十五圓右積荷同千五百圓

△サンパン 沈沒二、破損三、損害四百二十圓

計 沈沒七、破損二七、船体損害四千四十五圓、積荷同五千百〇四圓

尙は右日韓船舶の損害高を合計する時は一万一千二百六十五圓にして同積荷損害高は六千四百十四圓總損害高は實に一萬七千六百七十九圓の多額に上れり加ふるに船舶外損害の重なるものは稅關見張所及び月尾島石垣の崩壞土砂の流失等にして此損害高一万三千圓に達すべしと云ふ

泥棒酌婦前借を踏む

▲惡口入屋共の魂膽

仁川歌舞伎座にて興行中なりし田宮一座員篠崎某（其後大連にて病死せり）の指環を窃取して監獄に投せられたる仁川猫島花月の抱酌婦川本ハナ（二）は去月十三日滿期放免となり永登浦監獄より出獄したるが之より先き京城居住の惡口入屋小林榮藏と云ふが右れハナを親切轉しに籠絡して一儲せばやと魂膽を凝し一先づ川猫嶋花月に立歸りたるハナをば甘く籠絡して前借二百圓を踏倒し同樓を拔出さしめて京城南大門通りの口入屋立成舍方に暫らく身柄を預け小林は專ら四方に手を擴げて縲き口を搜索する內前記立成舍の番頭柳ケ瀨と呼ぶ色男がれハナの色香に迷ひて其の情の滸に溺し何とかして自分の圍ひ女にせんとの野心を起したる折も折抱樓主は其筋に搜索願を出したる事とて什麼やら手が廻り相になりたるより此儘過す譯に行かず同じ仲間の稻垣と云ふに賴みて他へ逃亡の準備中其筋の手に捕へられ目下仁川署にて取調中なるが保者一同を呼出し取調中なるが世には女の生血を吸ふ動物共の多いことかな

抱き寐た女を訴ふ

▲カルボーの枕さがし 大分縣平民當時龍山親町ロノ廿三番戶左官職平井辰藏（三）は一昨三十日午後七時頃何處かで一杯呷りて景氣を付け洞統戶不詳蝎甫李德俊方に繰込み安阿只（十七）といふ小供見た樣な蝎甫を相手に隨意春を買ひ上氣嫌にて歸宅せんとするに際し懷中せし第一銀行券二枚紛失せしに心付き安阿只に疑を掛け取調べたるも初めの程は知らぬ存ぜぬの一點張なりしも遂に寢床の下に一枚だけは匿しありたるに依り尙嚴しく詰問せしにウリは知らぬ茄子が南瓜がと澁々歎敷せるを辰藏は蝎甫の口中を檢めしに一枚は丸めて含み居りしを發見して南部署に訴出でたれば安は直ちに準現行犯として拘引せられたりとは滑稽な話なり

時事俳評　ちはる

△現內閣の對韓策乎

いゝいゝいゝ維持で終りけり年の暮

△度支部學部の衝突

餓鷹の得物爭ふ枯野かな

△期成會の發會式

紺足袋や一歩も引かぬ江戶氣性

△民長問題行惱み乎

手に取れば雫となりぬ初氷

△民長候補者の續出

捨てられぬ小道具多し煤拂ひ

北韓方面の難破漁船

▲難破五十六、死者廿名 北韓方面の沿海は目下明太魚の漁獲期に際し日々數千百の韓人漁船盛んに出漁中なりしが去る二十九日午前五時より起れる疾風に激し萬疊の怒濤見るも凄まじき光景を呈し多數の難破船を生じたり今成鏡南道警察部長より今一日午前七時發農商工部へ達したる公電によれば激浪今尙ほ已まざるを以て精細の數を知る能はざるも種々危險を冒かして唯今迄に調査し得たる處によれば新浦部內に於て二百七十艘出漁中辛ふじて歸還したるものは僅かに三十四隻にして他は孰れも行衞不明となり新昌部內に於ては難破五十六隻行衞不明三十八隻死者二十名を出せり其他利源端川等の各郡に於ても多數の遭難ある見込みなりと

置候居候に說諭喰ひ

▲居候を苦にして死を圖る 岐阜縣生れの小島忠次郎（三五）といふは十月下旬頃より龍山土山宮兵衛方に食客と爲り居しが何時迄經ちても思はしき稼ぎ口も無きより居心地惡しく感せしものか一ケ月前より度支部に奉職せるとて毎日土山方を腰辨にて出懸け居るに愈々俸給日となりて嘘の皮が剝げ居るに居られず二三日前同家を飛出し二十九日之れも以前小島を置候の厄に遭ひたる軍司令部附船渡定吉方に小島は借金嵩みて死ぬる方が增しと惟ふ程の苦しさに堪へ兼ねて自殺をする旨の遺書らしきものを投り込みたるより正直なる船渡は大に驚き八方搜索して小島を搜し出し龍山署に同行して說諭を願出でしといふ變な奴もあつたものなり

竊米賊の行衞を語る

▲盜んだ家から自宅迄 去二十九日血脈里五十八統の三戶邊泰水方の內庭に囲きありし白米四斗を竊取せしものあり東潮駐在氏家巡査が訴へに依りて出張せしに途が門邊より白米三五粒づゝ路上にこぼれて賊の行衞を示し居るにぞ跡を辿り行きたるに同所五十八統十九許景順とて日傭稼ぎの平素餘り正直ならぬ奴の門口に導きたるより踏込むで調べしに白米は床下に隱匿しあり本人も包み切れず自白して縛にかゝれり

●國葬活動寫眞

赤十字社愛國婦人會兩韓國本部にては故伊藤公が在世中保護奬勵の勞を執られたる恩義を紀念する爲め此程藤公葬儀の活動寫眞を購入し適當の機會に於て社員會員に觀覽追悼せしむる由なるが右は兒玉書記官東京滯在中特に統監府出張員を吉澤商店に派遣し親しく實地檢分の上取捨撰擇を遂げたる千三百尺餘の長尺ものにて十一月一日藤公靈柩を載せたる軍艦秋津洲橫須賀軍港着より齋場に至る國葬行列の實況を鮮明に撮影したる珍品なりと

●泥醉韓人の負傷

明治町三丁目二統七戶韓人金昌根（五二）は一昨日午後九時頃非常に酩酊して本町四丁目より三丁目に向つて千鳥足にて踉蹌し來り龜屋南店前に差蒐りたる折柄通行人と摺れ違ふ際過つて仰向に顚倒し強かと頭部を打ちて出血甚しく苦悶せるを警視廳第一課勤務韓巡查部長朴俊明が來合せて直ちに抱起して南山町三丁目松岡醫院に連込み應急治療を爲しめたる上人力車に乘せて歸宅せしめたりとは厄介なヨボと云ふべし

●無錢駄多羅大盡

龍山親町土木請負人田中孫藏と京城旭町一丁目二百七十番戶同業者吉澤德太郎の二人は二十九日龍山遊廓桃山樓に登り十九圓餘の遊興費が支拂へず警察の厄介になりしが吉澤が十圓丈苦面して殘金九圓餘は本日正午迄に支拂の約束にて事濟みとなれり

●東本願寺の說教

南山なる同寺に於ては二日、三日、四日の三日間午後七時半より三日間讚題說敎ある由又四日は第一土曜日に付例の如く靑年會の演說講話等ある由參聽隨意

●三面辭令

新町遊廓大樹屋抱娼妓妙可祝事福岡縣生れ木下ふい（二二）は一昨日限り滿期廢業▲東券番の自前藝妓花吉祖事愛知縣生れ伊丹たい（三三）は一昨日其筋に鑑札を突返して鄕里に歸りたりとは何れも目出度を

●花柳だより

十一月の花柳界は前半は伊藤公國葬等の爲め甚だ寂寞を感じたが其代り後半は其反動で大小の宴會等一時に集まり頗る繁盛を極めた今當地中券番の藝妓賣上順十五番迄を聞くに第一が撫翠の尤物眼玉で名高い靜子次が同樓の老妓文之助、次は松葉內の梅ケ谷事光松、次は井門の雛子同政子、てき（券番）撫翠內やん茶、蝶八（券番）駒榮（松葉）同力彌、井門內鶴香、同蝶々、桃代（撫）八重松（松）笑太郎（撫）にして花月、濟華の二樓が十五番內に入らざりしは頗る不審議なり、尤も是れは券番を通じたる賣上高に依る者にして內所の分は別途たる事勿論なり、右に依つて見るに數ヶ月間一位を離れざりし井門の政子が四番に落ちたるも線香に於て餘り大差なく常に三を下らざりし靜子が一番になりしも亦怪しむに足らず、久しく病氣休業中なりし文之助が一躍二番になりしは全く伊藤公薨去に基因する者と云ふべく彼れが公生前に『咲いて居るのも暫しの間』と云ふ都々逸を貰つたと云ふ事が朝鮮はたろか東京邊の新聞にも盛んに書き立てられ其れが爲め老妓文之助の名は一時に現はれ今は撫翠の文之助でなく京城否日本藝妓間の文之助になつた譯で彼れの花が多く賣れるのも全く是れが爲めであらふ、其他若手の賣出しで好位置に上つたのは井門の雛子、鶴香、蝶々、撫翠のやん茶、笑太郎等にて料理屋を通じては井門、撫翠、松葉の三樓が最も多き樣なり（雀）

北の風晴

三十日（華氏）　最高溫度 二七、〇　最低溫度 一九、六

廣告

無害ノ煙草ヲ御照會致シマス

EDP金口莨 は純埃及產 衞生を重 第で御座

て好磐を含み齒質を堅牢に致シマス故にらるゝ好煙家諸彥には特に御愛顧を蒙る次直段は百本入七十五錢以上色々有マス

洋金口莨 葉卷 パイプ 不拘多少御用命仰付被下度奉願候

直輸入商 御卸賣小賣 日希商會

主任メニヤス 電話一二一二番

乞御愛用

清酒櫻魂は弊店發賣の有名なる櫻正宗と同一釀法に係り品質の醇良にして而も價格の低廉なる他に其比を見ず

京城南山町四丁目 山邑京城支店 電話八四九番

釜山幸町二丁目 山邑釜山支店 電話三〇一番

特約販賣 自製

漬物 味噌 醬油 製造元

大上商店

京城本町五丁目 （電話二五一番）

和洋酒、精酎、穀物麵類銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尙御望に依り商品切手調進仕候

辯護士 特許辯理士 岩田仙宗

京城明治町二丁目（佛國敎會前） 電話三五四番

勿驚空前大懸賞總額壹萬圓也

●四十三年の幸福兒は誰？

●ゑり德で買物をした其人に當る？

●ゑり德は明治町一丁目であります

●ゑり德には半ゑり類は何でも有ります

●其外男女羽織紐及帶上帶〆帛紗

●歲暮ご贈答品はゑり德商品劵に限ります

●ゑり德は聯合賣出し加入店であります

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セス）

京城旭町一丁目六十七番戶

辯護士 岡田榮 （電話三九八番）

開業廣告

旭町一丁目歌舞伎座前北側

旅館並高等御下宿 戎館

諸具新調し親切叮嚀を旨とし勉强仕候

京城聯合大賣出

景品

壹等金參千圓債券

貳等金壹千圓債券

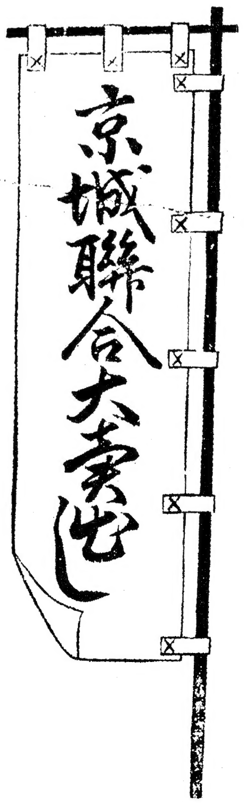
參等金五百圓債券

四等金貳百圓債券

五等金壹百圓債券

六等金五百圓(各店商品切手五十本)

七等金貳千五百圓(各店商品切手千五百本)



歳末ニ際シ顧客各位盛運ヲ祈リ平素ノ眷顧ニ酬ユルト共ニ市況ノ繁榮ヲ圖ランガ爲メ來ル拾貳月壹日ヨリ同卅一日迄左ノ方法ニ依リ全市聯合大賣出シヲ開催致シ候間上記左右ノ目標ヲ揭ゲアル加入各店ヨリ御買上ゲ被下度此段願上候

御買上金五拾錢毎ニ景品券壹葉進呈

賣出期間明治四十二年十二月一日ヨリ同卅一日迄

抽籤期日明治四十三年一月七日(京城日本人商業會議所に於て各新聞社及公衆立會の上)

景品引替期間明治四十三年一月八日より同卅一日まで

京城聯合繁榮會
(京城日本人商業會議所內)